



2026年3月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2025年11月7日

東

上場会社名 株式会社 ニッピ

上場取引所

コード番号 7932

URL <https://www.nippi-inc.co.jp/>

代表者（役職名） 代表取締役社長

（氏名） 伊藤 裕子

問合せ先責任者（役職名） 取締役経理部長

（氏名） 井上 善之

TEL 03-3888-5117

半期報告書提出予定日 2025年11月14日

配当支払開始予定日

—

決算補足説明資料作成の有無 : 有

決算説明会開催の有無 : 無

（百万円未満切捨て）

1. 2026年3月期第2四半期（中間期）の連結業績（2025年4月1日～2025年9月30日）

（1）連結経営成績（累計）

（%表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期中間期	24,020	△3.9	2,056	24.9	2,146	37.7	1,351	21.9
2025年3月期中間期	25,003	2.4	1,646	△10.0	1,559	△18.6	1,109	△19.5

（注）包括利益 2026年3月期中間期 1,769百万円（ 32.2%） 2025年3月期中間期 1,338百万円（△28.7%）

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期中間期	470.15	—
2025年3月期中間期	385.63	—

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年3月期中間期	70,393	40,609	56.6
2025年3月期	70,172	40,569	56.8

（参考）自己資本 2026年3月期中間期 39,823百万円 2025年3月期 39,838百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期	—	0.00	—	600.00	600.00
2026年3月期	—	0.00	—	—	—
2026年3月期（予想）	—	—	—	633.00	633.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2026年3月期の連結業績予想（2025年4月1日～2026年3月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭
通期	49,000	△0.3	3,800	4.8	3,800	5.1	2,600	5.8
								904.11

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当中間期における連結範囲の重要な変更 : 無
新規 —社(社名)— 、除外 —社(社名)—

(2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2026年3月期中間期	2,889,000株	2025年3月期	2,889,000株
② 期末自己株式数	2026年3月期中間期	13,416株	2025年3月期	13,276株
③ 期中平均株式数(中間期)	2026年3月期中間期	2,875,626株	2025年3月期中間期	2,875,803株

※ 第2四半期(中間期)決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(決算補足説明資料の入手方法)

決算補足説明資料については、2025年11月7日(金)に当社ホームページへ掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当中間期の経営成績の概況	2
(2) 当中間期の財政状態の概況	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 中間連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 中間連結貸借対照表	4
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	6
(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報)	10

1. 経営成績等の概況

(1) 当中間期の経営成績の概況

当中間連結会計期間における我が国経済は、雇用・所得環境の改善を背景に、緩やかな回復基調で推移しました。一方で、米国の通商政策の影響による景気後退への懸念や、物価上昇の長期化による個人消費への影響など、景気を下押しするリスクには引き続き注意が必要であり、依然として先行きは不透明な状況が続いております。

このような経営環境のもと、引き続き生産性の向上、製造費、販売費、管理費の見直し、高付加価値商品の開発などに取組んでまいりました。当中間連結会計期間は、コラーゲン・ケーシング事業は多品種少量化により生産性が低下し、皮革関連事業は中国を中心とした自動車市場の冷え込みにより販売が振るわず、それぞれ減益となりました。一方で、ゼラチン関連事業、化粧品関連事業、食品その他事業は順調に推移し、減収にはなったものの、利益面では増益となりました。

この結果、当中間連結会計期間の売上高は、24,020百万円(前中間連結会計期間比3.9%減)となり、営業利益は、2,056百万円(同24.9%増)、経常利益は、2,146百万円(同37.7%増)となりました。

なお、2025年9月18日公表の「固定資産の減損に伴う特別損失の計上に関するお知らせ」に記載のとおり、コラーゲン・ケーシング事業において一部不採算製造設備の整理を実施し、減損損失を計上した結果、親会社株主に帰属する中間純利益は、1,351百万円(同21.9%増)となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

① コラーゲン・ケーシング事業

国内販売は、ウィナーサイズ、着色ケーシングは堅調に推移したものの、フランクサイズが夏場の天候などの影響で苦戦しました。輸出販売は、北米向けが好調に推移しましたが、全体では減収となりました。利益面では原料費、人件費の上昇と販売品目の多品種少量化で生産効率が低下したことにより減益となりました。

この結果、売上高は、4,668百万円(前中間連結会計期間比0.2%減)、営業利益及びセグメント利益は、330百万円(同42.8%減)となりました。

なお、2025年9月18日公表の「固定資産の減損に伴う特別損失の計上に関するお知らせ」に記載のとおり、一部不採算製造設備の整理を実施し、特別損失に減損損失427百万円を計上しております。

② ゼラチン関連事業

ゼラチン販売は、惣菜用途は好調だったものの、グミ用、カプセル用は苦戦し減収となり、ペプタイド販売は、国内の医薬用途、健康食品用途は堅調に推移したものの、海外は価格競争激化により苦戦を強いられ、全体では減収となりました。利益面では、原料価格が安定していたことに加え原料ソース、原料供給国の見直し、生産性の改善などでコストダウンを図り増益となりました。

この結果、売上高は、6,142百万円(同6.7%減)、営業利益は、1,168百万円(同92.9%増)、セグメント利益は、1,169百万円(同92.4%増)となりました。

③ 化粧品関連事業

化粧品の販売は、やや苦戦しましたが、健康食品の販売は、物価高騰による消費マインドの低下の影響はあったものの、引き続き「ニッピコラーゲン100」の固定客化が進んだことにより増収となりました。また、広告費の上昇によりコスト増とはなりましたが、増益での着地となりました。

この結果、売上高は、4,021百万円(同7.4%増)、営業利益及びセグメント利益は、582百万円(同22.6%増)となりました。

④ 皮革関連事業

靴用革の販売は、アパレル用、婦人用が好調に推移したものの、紳士用は苦戦しました。ハンドル用革の販売は、中国経済の減速と米国関税政策の影響でアメリカ向け輸出車が減少したことなどにより減収減益となりました。

この結果、売上高は、3,057百万円(同20.4%減)、営業利益及びセグメント利益は、81百万円(同41.6%減)となりました。

⑤ 賃貸・不動産事業

東京都足立区の土地賃貸事業は、大規模商業施設、保育所、フットサルコート、駐車場用地として、大阪府大阪市の土地賃貸事業は、中央区心斎橋における商業施設用地及び浪速区なんばにおける「なんばパークスサウス」(タイの高級ホテル、ライフスタイル型ホテル及びオフィスビル用地)として有効活用を図っております。

この結果、売上高は、530百万円(同0.6%減)、営業利益は、414百万円(同1.6%減)、セグメント利益は、415百万円(同1.6%減)となりました。

⑥ 食品その他事業

有機穀物は、安定した需要により順調に推移しました。また、外食産業向けのイタリア輸入食材は、輸入為替の影響を受けながらも収益改善が進みました。バイオ関連製品は、国内外製薬会社や民間研究機関を中心に順調に推移した結果、増収増益となりました。

この結果、売上高は、5,599百万円(同0.3%減)、営業利益は、377百万円(同22.6%増)、セグメント利益は、376百万円(同23.1%増)となりました。

(2) 当中間期の財政状態の概況

当中間連結会計期間末における総資産は、70,393百万円となり、前連結会計年度末と比べ220百万円増加しました。これは主に、有形固定資産が786百万円減少しましたが、現金及び預金が327百万円、投資有価証券が686百万円増加したことなどによるものです。

当中間連結会計期間末における負債は、29,783百万円となり、前連結会計年度末と比べ180百万円増加しました。これは主に、未払法人税等が249百万円、長期借入金が136百万円減少しましたが、支払手形及び買掛金が202百万円、短期借入金が増加したことなどによるものです。

当中間連結会計期間末における純資産は、40,609百万円となり、前連結会計年度末と比べ40百万円増加しました。これは主に、利益剰余金が373百万円減少しましたが、その他有価証券評価差額金が461百万円増加したことなどによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年3月期の連結業績予想につきましては、2025年5月15日に公表いたしました数値に変更はありません。

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

(単位: 百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当中間連結会計期間 (2025年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	8,933	9,261
受取手形及び売掛金	8,482	8,735
商品及び製品	8,053	7,707
仕掛品	723	822
原材料及び貯蔵品	890	949
未収消費税等	60	99
その他	488	416
貸倒引当金	△57	△53
流動資産合計	27,574	27,939
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	6,772	6,513
機械装置及び運搬具(純額)	977	766
土地	28,522	28,522
リース資産(純額)	69	62
建設仮勘定	362	58
その他(純額)	208	201
有形固定資産合計	36,912	36,126
無形固定資産		
その他	209	185
無形固定資産合計	209	185
投資その他の資産		
投資有価証券	4,789	5,475
長期貸付金	0	0
繰延税金資産	133	107
破産更生債権等	3	3
その他	585	592
貸倒引当金	△37	△37
投資その他の資産合計	5,474	6,141
固定資産合計	42,596	42,453
繰延資産	1	0
資産合計	70,172	70,393

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当中間連結会計期間 (2025年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	6,742	6,945
短期借入金	4,412	4,757
リース債務	21	17
未払法人税等	747	498
未払消費税等	39	99
賞与引当金	562	584
役員賞与引当金	41	44
その他	2,123	2,136
流動負債合計	14,692	15,083
固定負債		
社債	100	100
長期借入金	6,060	5,924
長期末払金	39	4
リース債務	53	50
繰延税金負債	1,912	2,116
再評価に係る繰延税金負債	3,752	3,752
役員退職慰労引当金	562	313
退職給付に係る負債	2,009	2,023
資産除去債務	6	6
その他	412	407
固定負債合計	14,910	14,699
負債合計	29,603	29,783
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,404	4,404
資本剰余金	1,930	1,930
利益剰余金	23,466	23,092
自己株式	△40	△41
株主資本合計	29,760	29,385
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,456	1,918
繰延ヘッジ損益	12	55
土地再評価差額金	7,750	7,750
為替換算調整勘定	700	566
退職給付に係る調整累計額	157	145
その他の包括利益累計額合計	10,077	10,437
非支配株主持分	730	786
純資産合計	40,569	40,609
負債純資産合計	70,172	70,393

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書

中間連結損益計算書

(単位:百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
売上高	25,003	24,020
売上原価	18,658	17,156
売上総利益	6,344	6,864
販売費及び一般管理費	4,697	4,807
営業利益	1,646	2,056
営業外収益		
受取利息	5	8
受取配当金	87	108
為替差益	-	26
持分法による投資利益	14	12
その他	16	28
営業外収益合計	123	185
営業外費用		
支払利息	64	72
手形売却損	10	11
為替差損	128	-
その他	7	10
営業外費用合計	211	95
経常利益	1,559	2,146
特別利益		
固定資産売却益	-	0
投資有価証券売却益	69	-
会員権売却益	2	-
特別利益合計	71	0
特別損失		
固定資産除却損	0	1
減損損失	-	427
特別損失合計	0	428
税金等調整前中間純利益	1,630	1,717
法人税、住民税及び事業税	591	320
法人税等調整額	△102	△3
法人税等合計	489	317
中間純利益	1,141	1,400
非支配株主に帰属する中間純利益	32	48
親会社株主に帰属する中間純利益	1,109	1,351

中間連結包括利益計算書

(単位:百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
中間純利益	1,141	1,400
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	74	461
繰延ヘッジ損益	△67	52
為替換算調整勘定	188	△133
退職給付に係る調整額	1	△11
その他の包括利益合計	197	369
中間包括利益	1,338	1,769
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	1,318	1,711
非支配株主に係る中間包括利益	20	58

(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位: 百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純利益	1,630	1,717
減価償却費	711	526
減損損失	-	427
繰延資産償却額	0	0
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△13	△3
賞与引当金の増減額(△は減少)	63	22
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	6	2
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	18	△5
退職給付に係る資産の増減額(△は増加)	4	△3
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△26	△248
受取利息及び受取配当金	△92	△117
支払利息	64	72
為替差損益(△は益)	△1	△10
持分法による投資損益(△は益)	△14	△12
固定資産売却損益(△は益)	-	△0
固定資産除却損	0	1
投資有価証券売却損益(△は益)	△69	-
会員権売却損益(△は益)	△2	-
売上債権の増減額(△は増加)	657	△269
棚卸資産の増減額(△は増加)	△93	158
仕入債務の増減額(△は減少)	402	218
未払又は未収消費税等の増減額	167	73
その他	45	105
小計	3,457	2,657
利息及び配当金の受取額	92	115
利息の支払額	△62	△73
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△797	△514
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,690	2,184
投資活動によるキャッシュ・フロー		
投資有価証券の取得による支出	△0	△0
投資有価証券の売却による収入	118	-
有形固定資産の取得による支出	△351	△200
有形固定資産の売却による収入	-	0
無形固定資産の取得による支出	△25	△0
貸付金の回収による収入	3	0
その他	1	△4
投資活動によるキャッシュ・フロー	△253	△205

(単位:百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△159	453
長期借入れによる収入	300	1,700
長期借入金の返済による支出	△2,264	△1,925
自己株式の取得による支出	△0	△1
配当金の支払額	△632	△1,725
非支配株主への配当金の支払額	△2	△2
リース債務の返済による支出	△23	△10
長期未払金の返済による支出	△85	△71
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,869	△1,583
現金及び現金同等物に係る換算差額	88	△68
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△344	327
現金及び現金同等物の期首残高	8,605	8,760
現金及び現金同等物の中間期末残高	8,261	9,088

(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

I 前中間連結会計期間(自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント							調整額 (注) 1	中間連結 損益計算 書計上額 (注) 2
	コラーゲ ン・ケーシ ング事業	ゼラチン 関連事業	化粧品 関連事業	皮革 関連事業	賃貸・不 動産事業	食品その 他事業	計		
売上高									
外部顧客への売上高	4,679	6,585	3,743	3,843	533	5,617	25,003	—	25,003
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	1	—	—	0	—	2	△2	—
計	4,679	6,587	3,743	3,843	534	5,617	25,005	△2	25,003
セグメント利益	577	607	474	139	421	306	2,528	△881	1,646

(注) 1 セグメント利益の調整額の区分は報告セグメントに含まれない全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

II 当中間連結会計期間(自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント							調整額 (注) 1	中間連結 損益計算 書計上額 (注) 2
	コラーゲ ン・ケーシ ング事業	ゼラチン 関連事業	化粧品 関連事業	皮革 関連事業	賃貸・不 動産事業	食品その 他事業	計		
売上高									
外部顧客への売上高	4,668	6,142	4,021	3,057	530	5,599	24,020	—	24,020
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	0	—	—	0	—	1	△1	—
計	4,668	6,143	4,021	3,057	531	5,599	24,022	△1	24,020
セグメント利益	330	1,169	582	81	415	376	2,955	△898	2,056

(注) 1 セグメント利益の調整額の区分は報告セグメントに含まれない全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

コラーゲン・ケーシング事業において、将来にわたり採算の改善が見込めない一部の海外向け特別仕様製品の生産から撤退し、特別仕様製品を生産するための設備及び改造費用等の減損を行いました。

なお、当該減損損失の計上額は、当中間連結会計期間においては427百万円であります。